

第7回精度管理セミナー「コスモス」終了報告

第7回精度管理セミナー「コスモス」は、会員・賛助会員合わせて153名の参加と盛況のうちにお終りました。ご参加の皆さまは、皆様に改めてお礼申し上げます。

一日目は、2つのシンポジウムを行いました。1つ目のテーマは、「ISO15189の取得、取得後の維持管理とメリツト」としました。ISO15189は、以前より注目されてきました。直接的に収入に結びつかないこともあり、取得が難しい施設も多かったのではないかと思います。しかし、今年度の診療報酬改定で国際標準検査管理加算が新設され、現在は取得に向けて準備されている施設も増えていくと思えます。シンポジウムでは、既に取得されている病院内の秋田技師、北大病院内の谷技師から講演をいただきました。取得後のメリツトとして



一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会
北臨技 NEWS No.294 25.Nov.2016
TEL:011-786-7071/FAX:011-786-7073
http://www.hokuringi.or.jp

は、治験の拡大や加算による収入増、共通の組織目標によりスナップの意識の方向性が統一化できる、検査室の役割と信頼性の向上が期待できる、責任の明確化、繰り返し仕事の見直しをすることによる医療安全への貢献などがあげられ、ISOに基づいた技術能力の保証や品質マネジメントの重要性を認識することができました。

2つ目のテーマは、「JCLC L S 共用基準範囲について考える」としました。北臨技で行った道内のアンケート調査ではJCLC L S 共用基準範囲をすべて採用している施設が2施設、一部採用施設が9施設といまだ少ない状況でありました。シンポジウムでは、国立病院機構における取組みとして、国立病院センターの志保技師にご講演いただきました。全国の国立病院機構として、共用基準範囲を採用すること、導入に向けて進んでいることが示されました。また、実際に共用基準範囲を採用された北大病院、安田技師から、導入にあたっては基準範囲の典拠について医師への十分な説明をすること、他施設との整合性について患者説明ボスとで、特に大きな問題はなかったと実例についてお話しいただきました。

第195回北臨技講習会 終了報告

10月15日、札幌医大にて北臨技講習会「精度保証を学ぶー測定法の性能評価、外部精度評価についてー」を開催しました。生物化学免疫部門として3年ぶりの開催であり、49名の参加が得られました。話題提供として山口真理先生より「生化学検査の標準化状況と最近管理調査の評価方法やサーベイ試料の作成法とその問題点について解説していただきました。斎藤篤技師からは「測定法のバリデーションについて分かりやすく解説していただくと共に、バリデーションソフトの実演も行っていました。日常業務で精度管理、外部精度管理調査や試薬の検討に携わる中堅からベテランを対象に企画しましたが、若手技師の参加も多く盛況な講習会でした。(生物化学免疫部門長 梅森 祥央)

大規模基準固データが集められ設定されていることから、現在使用されている数多くの基準範囲と比較しても信頼性が高いことが示されました。今後、さいらに北臨技としても共用基準範囲の普及に向けて活動することが必要と感じました。

また、二日目は北臨技精度管理事業の報告と地区担当者交代の報告を行いました。地区担当者からは、地区担当者として、評価の精度管理報告会について、独自の取組みに関し、報告があり議論されました。

精度管理セミナー「コスモス」は来年度以降も継続していきます。会員をはじめ賛助会員の皆様方へは、今後ともご協力ご支援よろしくお願ひします。

(副会長 品川 雅明)

第196回北臨技講習会 終了報告

10月29日、札幌医大にて北臨技講習会を開催し、37名の方に参加いただきました。今回は「微生物関連遺伝子検査ノススメ」と題して「微生物関連遺伝子検査の概要及び、自施設での使用経験と検討事例について岩崎澄央技師、花田大輔技師、佐藤勇樹技師、葦澤慎也技師、杵渕貴洋技師に講演していただきました。さらに神戸大学医学部附属病院の中村竜也技師には、「感染症診断・治療への遺伝子検査の活用法」と題して遺伝子検査を実施する心構え、機器導入に対してのアドバイス、遺伝子検査のピットホールなどを分かりやすく講演いただきました。受講者からは「大変勉強になりました」「当院の遺伝子検査導入に役立てたい」などの感想をいただき、大好評の講習会となりました。(微生物部門長 福元 達也)

平成28年度日臨技北日本支部 生理機能検査部門研修会 終了報告

10月22・23日と二日間に渡り札幌医大にて北日本支部生理機能検査部門研修会を開催しました。北日本支部ということで道内のほか青森・秋田・宮城県からの参加があり、86名の方に参加いただきました。

呼吸器と循環器に焦点をあて、1日目は呼吸器をメインとし検査方法や検査結果の解釈の仕方、実際の臨床での評価、2日目は循環器をテーマに動脈硬化検査のコツやホルター心電図解釈のポイント、心不全を心エコーからどのように評価するかについて6名の技師、医師に講演いただき、内容の濃い講演ばかりでした。

呼吸器と循環器は関連がありますが、両疾患を同時に学ぶ事ができる研修会が少ないという声も多く、役に立つ情報を得ることができる企画になったのではないかと思います。来年度は青森県での開催です。北海道からも多くの方に参加いただけるよう企画できればと思います。(生理機能部門長 齋藤 和)

会員名簿の訂正について

10月に発行した名簿に次の間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

P.8 平成28・29年度検査研究部門名簿の一般検査部門に1名掲載漏れがありました。《追加》一般検査部門 野澤 佳祐 旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部 ⇒P.8の差替用紙を同封いたします

P.85 一般社団法人日本海員掖済会 小樽掖済会病院 内線及びFAX番号訂正 《正》TEL 0134-24-0325 (320) FAX 0134-24-0326

<<<お知らせ>>>
平成28年度北臨技サーベイの「施設別報告書」を11月4日に公開しました。(詳細は裏面をご覧ください)

◆平成29年度北臨技会員新年交流会
1月21日(土) 参加費5,000円 全日空ホテル
※求人情報は裏面に掲載します